

第3回佐久市文化振興推進企画委員会会議録

1 開催日時

日時 令和5年10月30日（月）
場所 佐久市役所南棟 大会議室

2 出席者

委員 文化振興推進企画委員7名（1名欠席）
事務局 社会教育部長、文化振興課長、文化振興係長、文化振興係2名

3 会議事項

1 開会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 令和5年度文化振興事業の中間報告

ア キッズ・サーキット in 佐久 2023 【資料1-1】

イ レ・フレール スペシャル・ピアノ・コンサート 【資料1-2】

ウ 佐久市芸術文化活動事業補助金 【資料1-3】

(2) 令和6年度佐久市芸術文化活動事業補助金の審査について 【資料2】

(3) 令和7年度以降の文化振興事業計画について 【資料3】

(4) その他

4 閉会の言葉

4 会議内容

1 開会（略）

2 あいさつ（略）

3 会議事項

(1) 令和5年度文化振興事業の中間報告

ア キッズ・サーキット in 佐久 2023 【資料1-1】

イ レ・フレール スペシャル・ピアノ・コンサート 【資料1-2】

ウ 佐久市芸術文化活動事業補助金 【資料1-3】

事務局：資料1-1～資料1-3について説明。

委員：レ・フレールコンサートについて、期待度に対してなぜ完売にならなかったのか検証
いただきたい。

事務局：レ・フレールのチケット販売の経過は、R元：538枚、R3：392枚、R5：601枚とな
っている。R3年と比較すると販売枚数は伸びている。今回の販売価格は、R元、R3と
比較して市内市外共通で一般3,000円/U-182,500円から、市外一般5,000円/佐久市
民3,000円/U-183,000円に変更したことにより、市外からの購入が今一つ伸びなかつ

た。市外の方へは、信濃毎日新聞広告、SNS 広告において長野、松本、上田をターゲットにしていたが、今後検証が必要であると考えている。

委員：資料 1-1 について感想より「デジタルデバイト対策を行って欲しい」とあるが、個人としては費用が常に掛かるのであれば行わなくて良いと考えている。また、キッズ・サーキットの来場者アンケートにおいて「妊娠中の為、椅子席で観られればよかった」とあるが、対応可能なのか。レ・フレールコンサートについて、空席があるのならば市民、市外で差を付けなくても良かったのではないかと議論があっても良いのではないか。

事務局：デジタルデバイト対策について、メイン客層が 20 代～50 代ということで今年度からオンライン予約をメインにしたが電話予約も残してある。また、レ・フレール公演においては、メインターゲットが 60 代～70 代ということで、広報等では信毎や市広報誌等を使っている。アナログからデジタルへの過渡期ではあるが、デジタル技術も取り入れながら、ターゲット層に会場いただけるよう工夫していきたい。

妊婦への対応について、事前に申し出があれば配席時に配慮していたが、当日にお声がけがあった場合においも、栈敷席から椅子席に変更する対応をしていた。ただこのような指摘を受けたことから、来年度はマニュアルを見直し、当日対応を徹底していきたい。

チケット価格については、今回レ・フレール公演では空席が出てしまったが、前回の DRUM TAO 公演では市民先行販売の 1 週間で完売になってしまった。市民の方については「佐久市民だから」安く、早く購入できるというお得感を出していきたい。市民の方には、本来であれば一般価格のこのぐらいかかるけど、佐久市民だからこれだけ安く買える、それは文化振興基金の運用益があるから、という認識をお持ちいただきたいと考えており、今後の公演においてもこの価格設定を続けていきたいと考えている。

委員：佐久市民の中で「レ・フレール」というアーティストがどれほど認知されていたのか。また、当日の曲目について、ポピュラーな曲を入れてもらえるよう事務局から提案できないか。

事務局：レ・フレールは昨年 20 周年を迎えた昔から活動されているアーティストになる。事務局としても、広報を行うにあたり、「安いから来てください」ではなく、「こんなに素晴らしいアーティストの公演を企画したので皆さん来てください」というように、なるべくアーティストを広く知ってもらえるような広報を目指している。今後も広報については、一緒にアーティストの知名度を上げられるよう努力していきたい。

曲目については、オリジナル楽曲が多かったが、前半はディズニーメドレーも入っており、お子様でもご存じの曲が多かった。事務局からアーティストに対し、具体的にこの曲を弾いてください、と依頼することは難しく、アーティスト側も、来場された方に楽しんでもらえるセットリストを考えて作られている。今後については、こういった客層が来る、こういった雰囲気やってほしいといった事務局側の意向、という形で交渉できればと考えている。

委員：各事業における信濃毎日新聞の広告料金、及び SNS 広告のコストを開示いただきたい。

事務局：信濃毎日新聞は、毎回「共催」といわれるパッケージに 70 万円程お支払いしている。こちらの「共催」だが、内容としては、期間中の広告欄に 10 回以上掲載するものになっているが、キッズ・サーキットの場合、チケット販売開始から完売までに 10 日間しか無い為、10 回掲載する前に広告掲載を止めたが、その場合であっても 70 万円は定額となっている。一方、SNS 広告の予算は、最大 50 万円となっており、こちらは、使った分だけの請求となる。現在主に X(旧 Twitter)、Facebook、Instagram で運用しているが、新聞と比較すると、広報力も高く、小回りも利き、予算も抑えられるものとなっている。

委員：今の説明や資料から、新聞の費用対効果が低いことがわかる。ネット広告についてだが、SNS のような会員制サイトではなく、「Google AdSense」の方が費用対効果が高い。また、広告発信時の属性分け等も優れているため、一度研究する余地があると思う。キッズ・サーキットについて今後も裾野を広げていきたいとお考えなら、広報の見直しを

行ってはどうか。

事務局：「Google AdSense」について、勉強不足であったことから、今後検討していきたい。また、委員のご指摘のとおり信濃毎日新聞の費用対効果が下がってきており、またキッズ・サーキットについては全体経費の削減を求められている事業のため、広報の見直しを行いながら、検討を続けていきたいと考えている。

委員：キッズ・サーキットの当日券の販売は行わなかった。

事務局：今年も行わなかった。2019年まで行っていたが、期間中6施設において、現金を管理するのが課題だった。その代わりに今年予約受付終了後に空席のある公演を1公演チケットとして500枚販売し、100枚程売れた結果となった。パスポートを購入できず当日参加できない方に向けて、来年度はFRINGE公演と呼ばれる。プロではなく、地元のアマチュア劇団による公演等を用意したいと考えている。

委員：キッズ・サーキットはボランティアを募っているのか。市職員のみで運営しているのか。

事務局：ボランティアは募っている。今年は東信圏域の高校生を中心に、24名集まっていた。その他にも人材派遣会社にも運営スタッフを依頼している。理事者より職員の出役を減らすようにと指示を受け、外注スタッフを入れてからは、職員の出役数を1/3程に軽減できている。

委員：外注スタッフはプロなのか。

事務局：日雇いバイトのような感じではあるが、派遣会社には、子供向けイベントであることから、趣旨を理解し物腰の柔らかい方を選んで派遣いただいている。行っていただく業務も、高校生のようなボランティアでもできるものとなっており、特段難しいオペレーションは求めていることから、昨年に続き今年も混乱はなく運用できた。

委員：スタッフが多いのであれば当日券はできないのか。

事務局：公金授受は職員しかできないことから、難しいと考えている。

委員：アンケートから空席が目立ったとあるが。

事務局：公演による。26公演全体でみると予約数に対して、当日ご来場されて方の割合は87%となっている。3日間、26公演において、予約はしたけど来場されなかった方は760人ほどいらっしゃる結果となった。

当日券については、現在積極的に元に戻すということは考えていないが、ご提案とご要望を聞く中で、検討する。

委員：キッズ・サーキットの場合、佐久市以外の子どもに割引は無いのか。

事務局：基本的に市外の子どもは大人と同じ2,000円となっているが、親御さんが市内の事業所において勤務されている場合は、佐久市の子どもと同様の扱いとして1,500円で販売しており、佐久市子育て支援課が全国の小学1年生向けに行っているオールマイティパス事業で、パスポートをお持ちのお子さんであれば、市外の小学6年生も1,000円でパスポートを購入できることとなっている。

委員：観光として、市外から人を呼び込む事業でもあるので、子供については価格差を市内外で作らない方がいいのではと思ったが、今の説明からそれなりに対応できていると感じた。そもそも2,000円であれだけの公演を観られているのだから割引はいらぬような気がする。

⇒その他、意見等無し

(2) 令和6年度佐久市芸術文化活動事業補助金の審査について【資料2】

委員長：資料2について説明。

⇒意見、質問等無し

委員長：事務局提案についてこちらの委員会として承認ということでよろしいか。

⇒委員承認

委員長： 今後の予定についてどうなるか。

事務局： 来年度予算の内示が出たところで、佐久市 HP 上に募集案内を掲載し、募集を開始したい。令和 5 年度内で出た申請については、3 月の委員会においてご審議いただきたいと考えている。

委員長： この補助金は基金の運用益で行っている事業だが、今後の見通しはどのように考えているか。

事務局： 大阪府債、及び利付国債で運用している基金だが、令和 13 年度で満期となることから、それまでは現行のまま続けたいと考えている。

⇒その他、意見等無し

(3) 令和 7 年度以降の文化振興事業計画について【資料 3】

事務局： 資料 3 について説明。来年度の事業については、令和 3 年度に新型コロナの影響で中止となったバレエ・ガラコンサートを開催したいと考えており、現在予算要求に向けた準備を進めている。令和 7 年度以降の文化振興事業について、今後、5 月の委員会後に行ったアンケートにおいて委員からお出しいただいた提案の中から開催したい公演の順位付けを行っていただき、その結果をもとに 3 月の委員会において最終決定したいと考えている。

委員： 候補として挙がっているものは、年齢層が高めのものが多いが、若年層が楽しめるものが入った方がいいのではないかと。例えば東信地域は金管が盛んな地域の為、具体的なアーティストはないが金管バンドのようなものが候補に入ってくれば良いのではないかと。

委員： 金管となるとオーケストラとかになるが、観るのではなく「佐久のハーモニーコンサート」のように子供たちに参加いただくのもいいのではないかと。

事務局： 「佐久のハーモニーコンサート」は既に何校か地元の中、高が参加している、また、芸術文化活動事業補助金のプラン B を出していることから、既に基金を投入している事業となっている。金管となると、「東京スカパラダイスオーケストラ」とかになるか。

委員： 候補に挙がっている和楽器バンドは、若年層にも人気があるため良いのではないかと。

委員： 今日の提案を候補に付け加えることはできるか。

事務局： 再来年の事業となると、予算要求が来年度の 10 月頃の為、その前から所属事務所等と交渉を行っていく必要が有るため、できれば 5 月ではなく、次の 3 月の委員会において最終決定をしたいと考えている。今日の委員会において、具体的なアーティスト名が出てくるのであれば付け加えることはできるが、出てこないようであれば難しい。ただ、今回のアンケート結果で 1 番から 3 番まで決まった順序が今後絶対崩せないというわけではなく、折衝していく中で開催が難しいと判断する場合や、今後の委員会において、より適当なアーティストの提案があった場合は、都度検討していきたいと考えている。

委員： 開催ホールはコスモホールのみを考えているか。県立武道館はどうか。

事務局： 県立武道館の場合、音響に問題があるのではないかとこちらの委員会で以前出ていたと認識している。

委員： さだまさしも公演を行ったことがあることから、検討してもいいのではないかと。コスモホールで開催するより費用もかかり、招聘するアーティストにもよるが、呼びたいアーティストが、コスモホールでは小さいと考える場合もあることもありうる。

事務局： 周年事業ということであれば、コスモホールよりも費用が掛かる場合でも可能。今後市政 20 周年、25 周年を控えていることから、通常開催はコスモホール、周年事業の場合は県立武道館も候補に入れることは可能だと考えている。

⇒その他、意見等無し

(4) その他

⇒意見等無し

4 閉会